

公益社団法人 日本地震工学会 第3回理事会議事録(案)

- A. 日 時 : 2013年8月1日(木) 17:30~21:30
- B. 場 所 : 建築会館 308 会議室
- C. 出席者 :
- (会長) 安田進
- (副会長) 当麻純一、福和伸夫、山崎文雄
- (担当理事) 福喜多輝、新海元、矢代晴実、和泉信之、加藤研一、松田隆、年縄巧、横井俊明、富田孝史、久田嘉章、古屋治、鳥井信吾、境茂樹、田村敬一、塚本良道
- (監事) 田蔵隆、五十嵐克哉
- (欠席) 清野純史
- オブザーバー出席: 嶋原毅事務局長、吹野美絵
- D. 提出資料
- 資料 03-01 第2回理事会議事録確認(新海理事)
- 資料 03-02 会務報告(福喜多理事)
- 資料 03-03 会計報告(矢代理事)
- 資料 03-04 学会 Web サイトの管理について(福喜多理事)
- 資料 03-05 Web 会議用マイクスピーカーシステムの購入について(矢代理事)
- 資料 03-06 入退会者(加藤理事)
- 資料 03-07 共催・後援・協賛等(新海理事)
- 資料 03-08 委員会委員の委嘱(更新分)(新海理事)
- 資料 03-09 第18回震災対策技術展実行委員会委員推薦について(福喜多理事)
- 資料 03-10 2013年日本地震工学会年次大会、国際シンポジウム(古屋理事、清野理事)
- 資料 03-11 強震記録 DVD の販売価格について(境理事)
- 資料 03-12 事業企画委員会の活動について(鳥井理事、境理事)
- 資料 03-13 会員増強案について(加藤理事、松田理事)
- 資料 03-14 選挙管理委員会からの報告(加藤理事)
- 資料 03-15 役員候補推薦委員会からの報告(福喜多理事)
- 資料 03-16 「地質・地盤情報活用促進に関する法整備推進協議会」について(福喜多理事)
- 資料 03-17 会誌編集委員会報告(久田理事)
- 資料 03-18 情報コミュニケーション委員会からの報告(富田理事)
- 資料 03-19 論文集編集委員会報告(年縄理事)
- 資料 03-20 受託研究について(安田会長)
- 資料 03-21 研究データの循環に向けた JST からの提案について(安田会長)

E. 議題

E 1. 報告事項

1) 議事録確認

第 2 回理事会議事録確認（新海理事、資料 03-01）

新海理事より資料 03-01 を用いて、第 2 回理事会議事録について説明があり、本内容にて了承された。

2) 会務報告（福喜多理事、資料 03-02）

福喜多理事より、資料 03-02 を用いて、6 月 27 日～8 月 1 日までの会務報告がされた。

3) 会計報告（矢代理事、資料 03-03-01、03-03-02）

矢代理事より、5 月 1 日～6 月 30 日までの貸借対照表と予算管理月報の会計報告がされた。

なお、執行状況を把握しやすくするために、次回から昨年度対比のグラフを示すことが確認された。

4) 学会 Web サイトの管理について（福喜多理事、資料 03-04）

福喜多理事より資料 03-04 を用いて、情報コミュニケーション委員会の分掌について説明がされた。学会の Web サイトの変更（議事録のアップロードなども含む）は原則情報コミュニケーション委員会が行うこと、各研究委員会のページはそれぞれの研究委員会で内容の公表、非公表も含めて責任をもって管理すること、メーリングリストの作成は事務局を通じてソフト会社に依頼すること、以上の基本方針が確認された。

5) Web 会議用マイクスピーカーシステムの購入について（矢代理事、資料 03-05-01、03-05-02）

矢代理事より、資料 03-05-01～02 を用いて Web 会議用のマイク・スピーカーシステム購入について説明がされ、購入することが了承された。今後、本機材を実際に使用し、その有効性が確認されれば増設についても視野に入れていくことが確認された。

6) ジョン・ミルン展について（福喜多理事）

福喜多理事より、7 月 13 日（土）に行われた柴田明德先生（本会名誉会員）と森本貞子さん（ノンフィクション作家）のスペシャルトークが大盛況であったことが報告され、当日の状況を会誌に掲載することが確認された（執筆は境理事）。

E 2. 議案

7) 入退会者（加藤理事、資料 03-06）

加藤理事より、2013 年 8 月 1 日現在、入会者は正会員 7 名、学生会員 6 名との報告があった。

また、退会者は正会員 1 名と報告され、承認された。

以上の結果、会員数は、名誉会員 28 名、正会員 1,119 名、学生会員 110 名で、現在総数は 1,257 名、法人会員 92 社となることが確認された。

8) 共催・後援・協賛等（新海理事、資料 03-07-01、03-07-02）

以下に示す、共催(1件)、後援(1件)、協賛(1件)の報告があり、承認された。

共催依頼：鳥取大地震 70 年フォーラム～災害に強い、安全・安心なまちづくり

(主催：鳥取県・鳥取市)

後援依頼：技術講習会「地盤耐震工学入門講習会」

(主催：地盤工学会)

協賛依頼：第 2 回中部ライフガード TEC2014～防災・減災・危機管理展～

(主催：名古屋国際見本市委員会)

9) 委員会委員の委嘱（新海理事、資料 03-08）

新海理事より資料 03-08 を用いて、委員会委員の委嘱について前回からの変更点を説明し、各委員会の委員が承認された。

10) 第 18 回震災対策技術展実行委員会委員推薦について（福喜多理事、資料 03-09）

福喜多理事より資料 03-09 を用いて、エグジビションテクノロジーズ社より第 18 回震災対策技術展実行委員会へ委員の推薦依頼があったことが説明された。本実行委員会へ委員を出すことについての審議がされ、本会として安田会長を推薦することが承認された。

11) 2013 年日本地震工学会年次大会、国際シンポジウム（古屋理事、清野理事、資料 03-10-01、03-10-02、03-10-03）

古屋理事より資料 03-10-01～03 を用い、今年度の日本地震工学会年次大会は発表件数、会場規模、予算、大会運営面を勘案した結果、11 月 11 日(月)、12 日(火)の二日間に短縮する旨の説明がされ、承認された。

また、以下の点についても確認された。

- ・交流会は一日目を実施すること
- ・歴代の正副会長に交流会への参加を呼びかけること
- ・実行予算(案)は、会場費の削減、論文集の USB 化を織り込んだ支出抑制を反映していること

なお、国際シンポジウムの論文集についても CD-ROM または USB にするかどうかを、後日、改めて検討することになった。

12) 強震記録 DVD の販売価格について（境理事、資料 03-11）

境理事より資料 03-11 を用い、第 1 回理事会で承認された強震記録 DVD の販売価格引上げについて、第 2 回理事会にて事業企画委員会で再検討するよう要請があったため、以下の内容を検討したことが説明された。

- ・強震記録は各観測機関から無償で提供されたものである。
- ・過去の販売価格との整合を考慮し、購入者に不公平感を与えないよう配慮すべきである。
- ・新たな付加価値など、値上げ分に相当する根拠が必要となる。
- ・各頒布先に対する案内状の中に、CD-ROM 複写や郵送等の手続きに関わる経費分として、価格が設定されていることを明記しており、現状、この経費が増加する事情は認められない。

以上の理由から、今後の方針として以下の内容が確認された。

- ・現在の強震 DVD について、販売価格は値上げしない。
- ・ただし、新たな地震の強震記録など、新規 DVD の販売価格については、改めて検討する。
- ・国内・国外への販売を促進する。国外に関しては IAEE, EERI に宣伝してもらうようにする。

E 3. 懇談事項

13) 事業企画委員会の活動について（鳥井理事、境理事、資料 03-12-01、03-12-02）

鳥井理事、境理事より資料 03-12-01～02 を用いて、平成 25 年度事業企画委員会の活動計画について説明され、以下の意見が出された。

- ・本学会の会員規模に相応しい事業活動とは何かを、この 1、2 年でしっかり議論すべきである。
- ・活動範囲を広げすぎると、理念や過去の経緯を受け継ぐのが難しく、結果として継続性がなくなる恐れがある。
- ・社会貢献を活動目的の一つとしながらも、一方で公益社団法人として単年度の収支バランスが取れた活動計画とすることも必要。
- ・活動に際しては、委員になる人のモチベーションも上がる事業活動とすべき。
- ・今後、各研究委員会の成果は、報告会・講習会あるいは冊子で発表するといった形にもっていくべき。

以上の討議を踏まえ、以下の方向性で今年度活動を進めていくことが確認された。

- ・南海トラフ巨大地震を意識した地域の被害軽減や防災意識の向上を目的とする特徴ある講演会・講習会の開催として、文科省プロジェクトの地域研究会との連携を図る。
- ・社会への情報発信を目的とする事業活動として、メディア向け懇親会、勉強会の開催を計画する。
- ・震災予防講演会の実施
- ・E-ディフェンス見学会の継続
- ・強震記録データの頒布

また、事業企画委員会に相応しい委員候補がいる場合は、鳥井理事、境理事に推薦者を連絡することが確認された。

14) 会員増強案について（加藤理事、松田理事、資料 03-13）

加藤理事より資料 03-13 を用いて会員数増強の計画説明がされ、以下の意見が出された。

- ・本学会は 50～60 代の会員が多く、退職者の退会に歯止めをかける必要がある。そのため、他学会のシニア年代の会員対応の取り組みは参考になる。
- ・一方で、新規会員になるきっかけの一つとして、年次大会での発表がある。そのため、年次大会の開催場所について東京以外も検討の対象とした方がいいのではないかと。
- ・各委員会に若い人を積極的に取り入れるといった工夫もすべきである。

以上の討議を踏まえ、シルバー会員を設定する方向で検討していくことが確認された。会費設定、規則変更などは会員部会で検討を進め、次回理事会で報告することとなった。また、20～30 代の若者をどのようにして取り入れるかは、学会の将来に大きく影響を与える話となるので、将来構想委員会で検討することが確認された。さらに、学会のホームページの入会案内のところを、入会したくなるように工夫する必要があることが指摘された。

15) 選挙管理委員会からの報告（加藤理事、資料 03-14-01、03-14-02）

加藤理事より資料 03-14-01～02 を用いて、今年度の選挙スケジュールと日本地震工学会選挙規程の改訂案の説明がされた。選挙公示前に JAEE ニュース(9 月 1 日発行)で、今年度次期会長選挙を行うことを説明すること、また、候補者の所信表明、略歴などの HP 掲載は、投票期間の約 2 週間前まで(11 月 15 日目途)に実施することが確認された。

16) 役員候補推薦委員会からの報告（福喜多理事、資料 03-15）

福喜多理事より資料 03-15 を用いて第 1 回役員候補推薦委員会の議事録の説明があり、委員長として若松委員を選出したこと、委員会推薦候補者の選考方法について報告がされた。

17) 「地質・地盤情報活用促進に関する法整備推進協議会」について

(福喜多理事理事、資料 03-16-01、03-16-02)

福喜多理事より資料 03-16-01～02 を用いて、首題協議会の委員交代に関する説明があり、「法制度 WG」のメンバーとして塚本理事を選出することが確認された。

18) 会誌編集委員会報告（久田理事、資料 03-17-01、03-17-02）

久田理事より資料 03-17-01～02 を用いて会誌編集委員会の活動が報告された。

新規の特集として「過去の地震に学ぶ、今後に備える」をシリーズ化し、次号(20 号)では相模トラフ・首都圏直下地震、次々号以降は南海・東南海地震、活断層の地震、日本海東縁の地震などを取り上げる予定との紹介がされた。

19) 情報コミュニケーション委員会からの報告（富田理事、資料 03-18）

富田理事より資料 03-18 を用いて情報コミュニケーション委員会の活動が報告された。
News Letter の発行月を 7、9、12 および 3 月に変更すること、今年度の JAEE News の巻頭言は平成 25 年度新任理事が担当し、武村先生の巻頭言を News Letter のコラムに移行することが紹介された。

20) 論文集編集委員会報告（年縄理事、資料 03-19）

年縄理事より資料 03-19 を用いて論文編集委員会の活動が報告された。
英文論文集の査読について、英文の校正を業者に依頼し、その費用を学会が負担することが提案された。支出増となるため早期に見積り金額を調査することが確認された。

21) 受託研究について（安田会長、資料 03-20-01、03-20-02）

安田会長より資料 03-20-01 を用いて、液状化に対する対策・復旧に関する研究委託計画のあることが紹介された。正式に委託されてから受託の可否を検討することとした。
なお、資料 03-20-02 の第 8 条 受託研究経費が他学会と乖離があるのではないかとの指摘を受け、他学会経費を総務にて確認することとなった。

22) 研究データの循環に向けた JST からの提案について（安田会長、資料 03-21）

安田会長より資料 03-21 を用いて、科学技術振興機構（JST）が過去の資産の有効活用やデータを使った新しい科学（研究データ循環）構築に向け、モデルケース確立のために震災画像の収集・整理を検討しており、JAEE に対して「日本地震工学会論文集」や「日本地震工学会誌」に掲載された画像データ（写真、図、グラフ）の利用許可を頂きたいと協力依頼があった旨の説明がされた。
論文集や学会誌の著作権や著作権は JAEE にあること、また JAEE に大きな負荷がないことから提案を承諾することが確認された。本意向は、年縄理事から JST 担当者に連絡をとることとなった。

次回予定：平成 25 年 9 月 18 日 理事会 17：00 より

（場所：建築会館 308 会議室）

記録担当：総務理事 新海 元